

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年 3月 21日

公表: 令和6年 3月 28日

事業所名 児童発達支援事業所さんさん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	3	施設全体を療育に使用できるようプログラムを組んでいる。	戸外やこども園の遊戯室などを利用している。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	新たに従業員を採用し配置した	認可配置以上に配置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	ガラスは必要に応じてブラインドをしている。	外からの情報に惑わされず、集中した療育ができるようカリキュラムを組んでいる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1	ジョイントマット等を敷き、すぐに横になれるよう配慮している。	個の空間が少ないため、個別空間をつくれるようにする。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	3	業務改善ミーティングと個別目標管理面談を実施し、改善を進めている。	業務改善の振り返りを実施していく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	評価やご意見をもとに改善している。	保護者アンケートを継続し毎年実施する。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	愛生館ホームページにて公開	毎年ホームページ内容を更新していく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	今後第三者評価を検討する。	今年度は第三者評価を実施していないため、実施を検討している。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	外部・内部研修を計画的に実施している。	全職員に研修を実施した。次年度も同様に実施する。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	1	児発管を中心に分析し作成している。	個別のニーズをしっかりと反映した支援計画作成に努めている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	発達アセスメントシート使用している。	研修・学会などにも参加し、最新の情報を収集していく
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1	ガイドラインに則り選択している。支援内容は随時発達に合わせて見直している。	ガイドラインの共有をしたうえで指導員の意見も取り入れ設定していく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	1	計画に基づいた支援を実施。	計画の周知をミーティングなどを通して行っていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	チームで共有してプログラムを作成している。	検討・相談時間を設けて実施している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	発達状態に合わせて変えている。	内容の評価と結果のフィードバックを実施する。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	0	個別も集団も毎日組み合わせで計画している。	計画の見直しを共有していく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	役割分担・担当を決めて療育にあたっている。	担当がつけない場合は随時交代しながら対応していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	その日あったことは共有し記録、次回に活かしている。	ICTを活用した情報共有も行っている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	毎日記録をとっている	公開された記録のご意見には丁寧に対応する。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	定期的にモニタリングを実施している。	モニタリング内容を指導員とも共有する。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	児発管が参加している。	情報を集約したうえで参画していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	地域の相談事業所・機関と連携を図っている。	わかりやすい情報の提供を実施できるようシートを作成していく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	該当なし			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	該当なし			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3	認定こども園ひまわりと実施。	引き継ぎ書を作成して情報共有している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	情報提供書を作成し送っている。	必要あれば直に赴き説明していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	他事業所の見学を実施している。	今後も相互交流をすすめる。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	施設全体での行事取り組みを実施している。	各事業所の行事に積極的に参加する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3	社会福祉協議会主催の会議に参加している。	今後も定期的に参加する。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	保護者と共有する機会を設けている。	個別や集団でも実施していきたい。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	5	現在は実施していない。	今後トレーニングも含めて検討していく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に説明している。	契約は個別に十分な時間をとっているが、多岐にわたるため、随時質問は受け付けている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	定期的に見直し同意を得ている。	同意を得る際には直接的に十分な説明を実施していく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	送迎時や電話・事業所来訪時に対応する。	できる限り定期的に時間を個別につくっていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	現在は実施しないため、今後検討する。	保護者会について今後開催を検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	相談の受け入れは随時実施している。	相談しやすい環境づくりを心掛けていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	ICTを用いて案内している。	法人全体の会報だけではなく、事業所独自の会報等があると良いため今後検討する。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	個人情報保護マニュアルに基づき、実施している。	マニュアルは定期的に見直し周知する。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	ICTを用いて個別に連絡している。	実際の声を聴く時間が少ないため、送迎時にもしっかりと傾聴できるようにする。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	行事には広く地域へ案内している。	今後も行事に参加していただけるよう幅広く呼び掛ける。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	3	マニュアルは整備されている。	一部防犯訓練が未実施のため、計画的に実施していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	避難訓練を毎月実施している。	計画的に施設全体で実施していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	契約・アセスメント評価時に確認している。	必要あれば医療情報提供書を求めていく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	事前申告を確認している。	医師の指示書対象児なし。保護者からの情報共有は行なっている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	定例の報告書で実施している。	ヒヤリハット報告書を基に情報共有していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	研修と自己チェックを実施している。	毎年、定期的に研修と自己チェックを実施し、分析する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	マニュアルに明記し、報告経路を基に承認し子ども・保護者に十分に説明し了解を得るようにしている。	マニュアルを定期的に見直す。マニュアルの周知も徹底する。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。